

重点施策 1 21世紀産業都市の創造

「産業基盤の整備」

新ビジネスパークの整備
昨年11月の「出雲ビジネス誘致・集積懇話会」の提言を踏まえ、企業誘致や市内企業の集積を進めるため、基盤整備に逐次、具体的に着手します。
中心市街地の活性化
出雲地域の「中核都市拠点地区」、平田地域の「東部都市拠点地区」の2地区で、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、それぞれがめざすまちづくりの将来像の具現化に向けて、取り組んでいきます。



21世紀出雲林業FFF事業で、森林の整備や市内産木材の利用促進を支援します

JR出雲市駅周辺地区にIT関連企業の集積を進めるために、特段の支援策を講じます。

農業振興

新たに導入される3つの改革「米政策改革」「品目横断的経営安定対策」「農地・水・環境保全向上対策」を、関係団体などと協力し、着実に押し進めます。

農業基盤の整備としては、県営稗原地区かんがい排水事業などが新年度に完成予定であるほか、斐伊川沿岸地区国営農業用水再編対策事業などが引き続き実施されます。

林業振興

新たに、出雲地区森林組合等と共同で「21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド(FFF)」を創設し、間伐や作業道整備、林業機械購入などへの支援を行います。

水産業の振興

定着性が強いアマダイやキジハタの栽培漁業の推進に取り組みます。大社漁港で整備予定の「出雲水産交流プラザ(仮称)」については、基礎調査など諸準備を進めます。

塩津、釜浦漁港の外郭施設の改良を引き続き実施するほか、鶴峠漁港の物揚場の修繕を行います。また、釜浦地区に人工魚礁を造成します。

「産業創出及び地場産業の振興」

新産業の創出
「新ビジネス創業支援事業」を引き続き実施するほか、「21世紀出雲産業見本市」を一層充実させます。

21世紀出雲産業支援センターにおいて、ブランド発信の拠点として民間の先進的な発想による特産品の情報発信も新たに行います。

新エネルギー産業については、「新出雲風力発電事業」「出雲ハイオマスエネルギープラント」を引き続き支援していきます。さらに、水素エネルギーを利用したエンジン研究施設の進出を働きかけます。

21世紀出雲農業FFF事業

2年目に入った「21世紀出雲農業フロンティア・ファイティング・ファンド」を一層充実させ、担い手の育成や特産・畜産振興の助成策を強化します。

特産振興

県内最大産地のぶどうについて、高品質化・省力化を推進するとともに、大粒系新品種の導入や、他の果実との複合経営化を進めます。

「いちじくの里整備事業」を立ち上げ、「多伎いちじく」の全国ブランド確立や品質向上・ビジネス化に向けた研究、後継者育成を図ります。

畜産振興

引き続き「いずも和牛」の振興を

図るほか、牛乳・鶏卵の良品質化を進めるとともに、「出雲ブランド」を最大限に生かした県内外での販路開拓、販売促進を積極的に支援します。

「人材育成及び人材確保」

ジョブ・ステーション出雲
就業促進、人材確保を図るとともに、積極的に求人開拓を行い、引き続き効果的な職業紹介に努めます。

アグリビジネススクール
新たにアグリビジネス実践研究科(仮称)を開設し、経営感覚に優れた足腰の強い経営者を育成します。



農業の担い手対策として、昨年7月に開校したアグリビジネススクール。18年度は、アグリビジネス科、就農チャレンジ科、特別集中講座に99人が参加しました

重点施策 2 21世紀出雲神話観光大国の創造

「ビジット・出雲・全国キャンペーン10年計画」を提唱

交流人口1,000万人をめざして、県立古代出雲歴史博物館のオープンや60年ぶりの出雲大社の正遷宮等、神話の国出雲のイメージを全国に発信します。

神在月条例(仮称)の制定

古代出雲文化をめぐる交流活動の増進を目的とする条例を制定します。「神在月」にちなんで、「出雲神在月文化月間(仮称)」を定め、産業・文化・観光・教育などさまざまな分野での学習や、にぎわいの場を市民総参加で創造していきます。



昨年11月に設立した出雲文化観光学院。19年度は、観光を支える人材づくりを進めるため、さらに研修講座を充実します

「歴史・文化のシンボル空間整備」

出雲阿國座(仮称)の創造
大社門前町整備の中核である出雲阿國座の実施設計や用地の確保・整備に取り組みほか、管理運営の仕組みなどを具体的に検討していきます。

「歴史・文化資源と豊かな自然資源を活用した観光回廊づくり」

西谷墳墓群史跡公園および博物館の整備
西谷墳墓群史跡公園の整備を引き続き行うとともに、平成21年度オープンをめざし、博物館の建設に着手します。

出雲大社本殿等の保存修理
平成20年度から予定されている国宝出雲大社本殿等の保存修理については、国、県及び出雲大社と具体的な支援策の調整協議に入ります。

遺跡の発掘調査
田儀櫻井家たたら製鉄遺跡等の史跡整備や中村1号墳をはじめ、遺跡の発掘調査等を全国の大学・研究機関と連携して行います。



中村1号墳(国富町)など、市内各地で貴重な文化財の発掘調査が進んでいます

国立公園日御碕および立久恵峡わかあゆの里
観光地にふさわしい活用策について、さらに検討します。

出雲神話まつりの開催など
全国への情報発信をめざす夏の祭典「出雲神話まつり」や「神在月出雲全国そばまつり」などを一層盛大に開催するとともに、コンベンション支援制度の活用により、文化・スポーツを中心とした各種大会などを積極的に誘致します。

「出雲の国ブランドの情報戦略」

「神話の夢舞台 出雲展」の開催や、神話の国縁結び観光協会と連携した広域観光キャンペーンなど、「心のごみ一生に一度は出雲へ」をキャッチフレーズに、大都市圏を中心に観光PRと一層効果的な観光客誘致に取り組みます。



今年の出雲神話まつりは、8月11日・12日に開催します

日本の古典芸能の情報発信舞台となる出雲阿國座(仮称)を出雲大社球場に建設します



基本設計のプロポーザルで提案された出雲阿國座(仮称)のイメージ図:実際の設計とは異なります